

TOWISE Version 2.0.3.0 アップデート概要

2007年9月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、TOWISE Version 2.0.3.0 で追加された機能の概要を説明します。

製品構成表

TOWISE Version 2.0.3.0 より、TOWISE 製品の構成は右表となる予定です。
(NEW) 部分が今回リリースの新しいアプリケーションです。

(見方の例)
「10.地籍測量(CD 工程)」を購入する場合には、下記のように、その左側のベースとなるソフトが必要です。

- 06. 基準点共通計算
- 04. 測量 CAD
- 03. TOWISE BASIC GATE
- 01. TOWISE CAD

TOWISE Version 2.0.3.0 製品構成表

パッケージ名称	
1	TOWISE CAD
2	DWG / SXFコンバータ
3	TOWISE BASIC GATE
4	測量CAD
5	測量計算
6	基準点共通計算
7	厳密網平均計算
8	任意網平均計算
9	基準点補助計算
10	地籍測量(CD工程) (NEW)
11	地籍測量(FG工程)
12	地籍2000コンバータ
13	路線測量
14	縦横断測量
15	GPS地形・応用
16	GPS網平均計算
17	GPSスタティック基準点
18	GPS RTK基準点
19	現況CAD
20	現況DM編集
21	DM編集オプション
22	ラスタ編集
23	ベクタライザ

新製品・新機能の機能概要

TOWISE アプリケーション	機能概要	主な機能
地籍測量(CD 工程)	地籍調査作業規程準則の C 工程(地籍図根三角測量)及び D 工程(地籍図根多角測量)作業における各種測量計算、成果作成機能を搭載。	【網計算】 地籍-任意網計算、地籍-単路線計算、XY 型網計算 【地籍図根三角成果】 図根三角測量精度管理表、図根三角点成果簿、図根三角点成果簿数値データ、図根三角点網図 【地籍図根多角成果】 図根多角測量精度管理表、図根多角点成果簿、図根多角点成果簿数値データ、図根多角点網図

TOWISE 地籍測量(CD 工程)では、地籍調査作業規程準則の C 工程(地籍図根三角測量)及び、D 工程(地籍図根多角測量)業務を支援する各種測量計算、及び、成果作成機能を搭載しています。

勿論、それら測量計算及び成果品は、地籍調査業務特有の精度管理、肩符などの路線名称・測点名称印字に対応。

地籍調査測量業務に特化した、各種専用機能を満載しています。

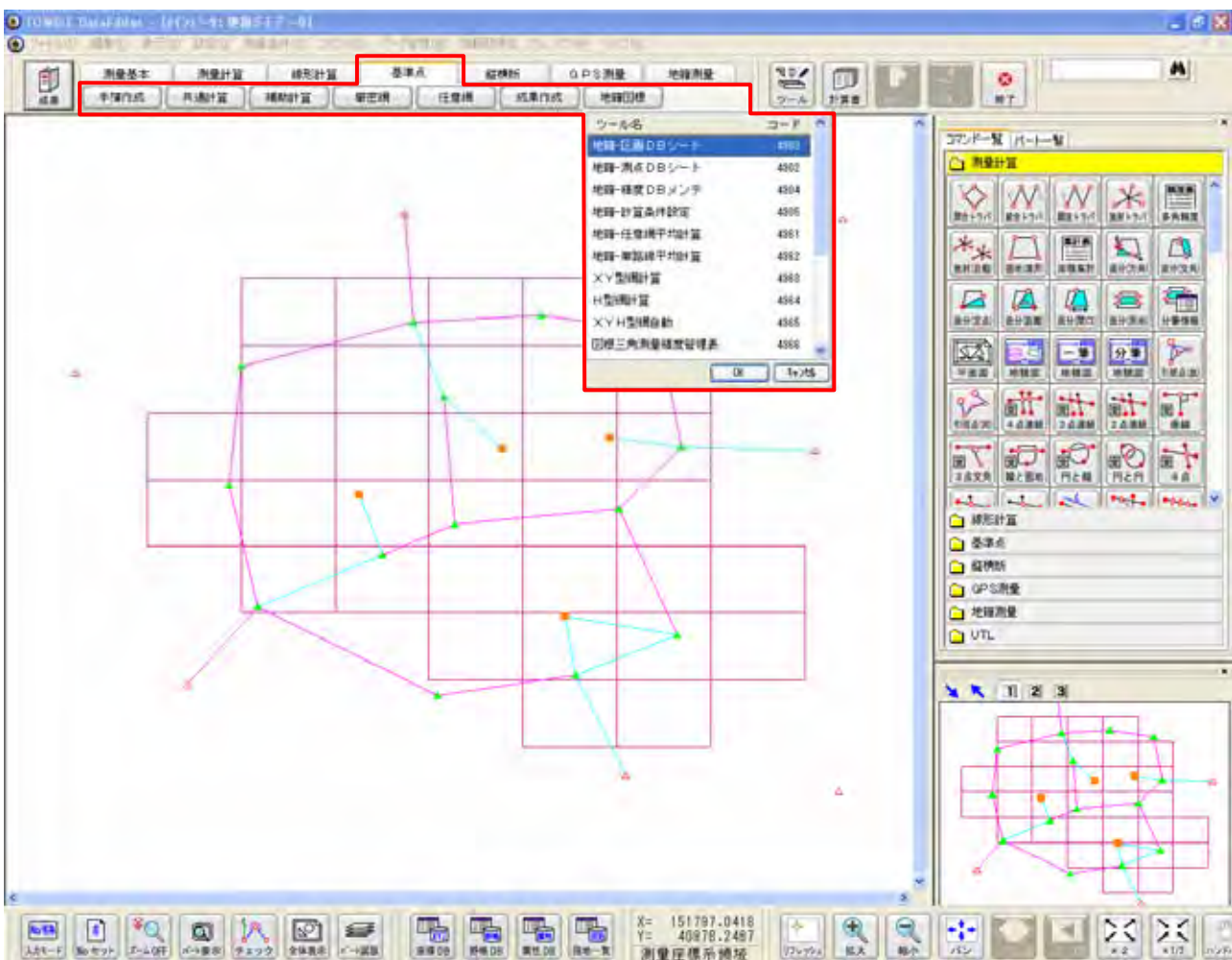
TOWISE 地籍測量では、前身システムである、「CAMBAS 地籍測量パッケージ」(以降、従来システムという。)の操作性を継承しつつ、従来システムを長くお使い頂いたお客様からの声を元に、大量データを取り扱う地籍調査業務を如何に効率化できるかを追求します。

TOWISE 地籍測量(CD 工程)は、既にリリースしております、『TOWISE 基準点測量パッケージ』のオプションとして新たにラインナップされる商品です。(メニューでは、『基準点』グループに属しています)

ご存知のように、地籍図根点測量の作業(作業の流れ)において、公共基準点測量との違いは、点検計算における制限値や網計算結果の許容範囲と精度管理表などの成果様式が若干違うのみで、作業工程および計算方法においてもほぼ同じ手法がとられています。

TOWISE 地籍測量(CD 工程)では、その違いだけをパッケージングし、公共基準点測量と地籍図根点測量の操作環境を統一することで、業務の違いによる操作性や機能の違いを無くしています。

また、違いだけをパッケージングすることで、公共基準点業務と地籍図根点業務の両方を行っているお客様に、お求め安い価格体系を実現し、ご提案できるようになりました。



厳密網計算の地籍対応

TOWISE 地籍測量(CD 工程)のオプション追加に伴い、現在リリースしている『TOWISE 基準点測量』の『点検計算(高低・水平)』及び『厳密水平・高低網計算』の入力情報として、地籍精度区分の対応を行っています。

これにより、計算処理そのものは、基準点測量と同じ計算処理を行うものの、精度管理において地籍測量の精度管理が行えるようになり、地籍精度管理表および成果簿の出力が可能になりました。

注) 地籍の等級区分を指示した場合、厳密網計算書の出力において日本測量協会の検定番号は印字されません。
これは、公共基準点成果は日本測量協会の検定を受けていますが、地籍図根点成果は検定を受けず、自社点検にて行っている為ですので、予めご了承ください。

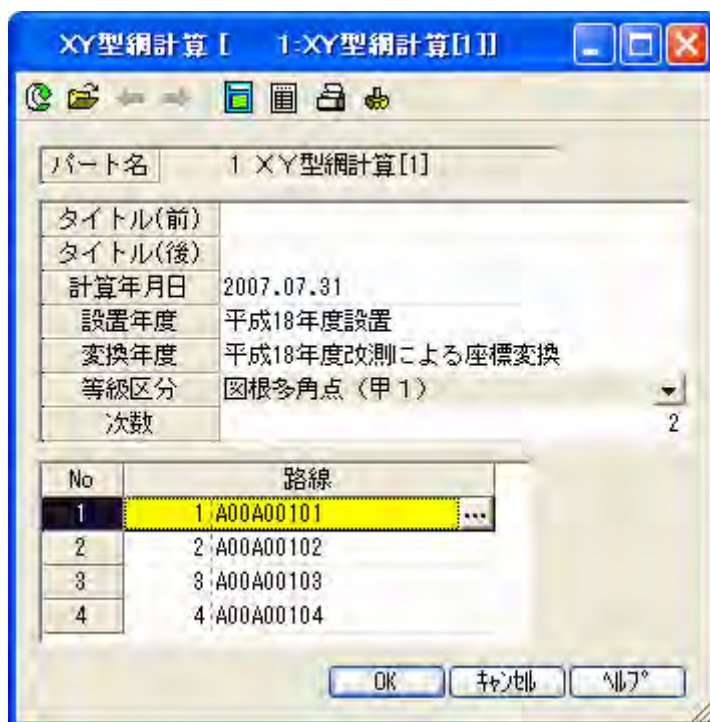


地籍専用任意網計算

地籍測量業務では、ひとつの調査地域に対する作業工程が幾つにも別れ、長期に測量作業を行う為、後工程における座標精度を担保するうえで各工程にて算出する座標値の単位を準則で規程し行っています。

TOWISE 地籍測量(CD 工程)では、基準点の簡易網計算とは別に、地籍専用の簡易網計算(地籍-任意網計算、地籍-単路線計算、XY 型網計算、H 型網計算)を用意し、計算条件に従った網計算プログラムを用意しています。

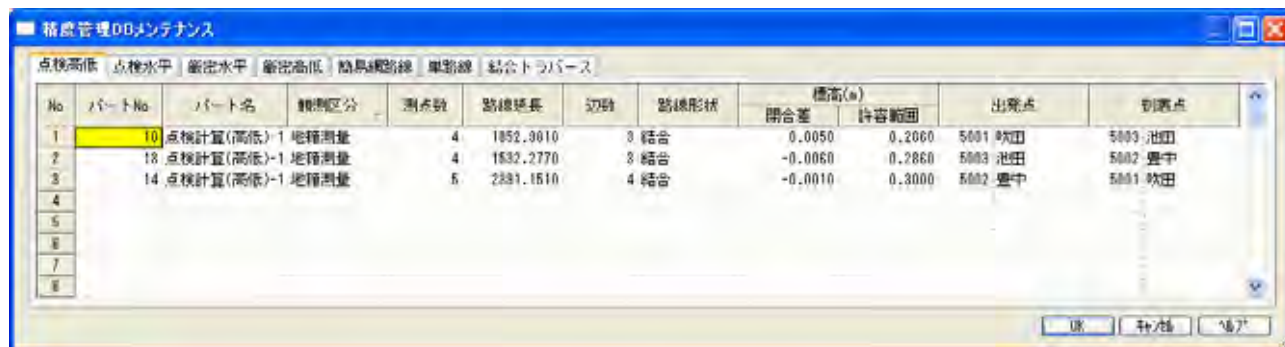
注) H 型網計算につきましては、Version 2.0.3.0 以降のリビジョンアップで対応する予定です、(9 月末リリース予定)



精度管理 DB メンテナンス

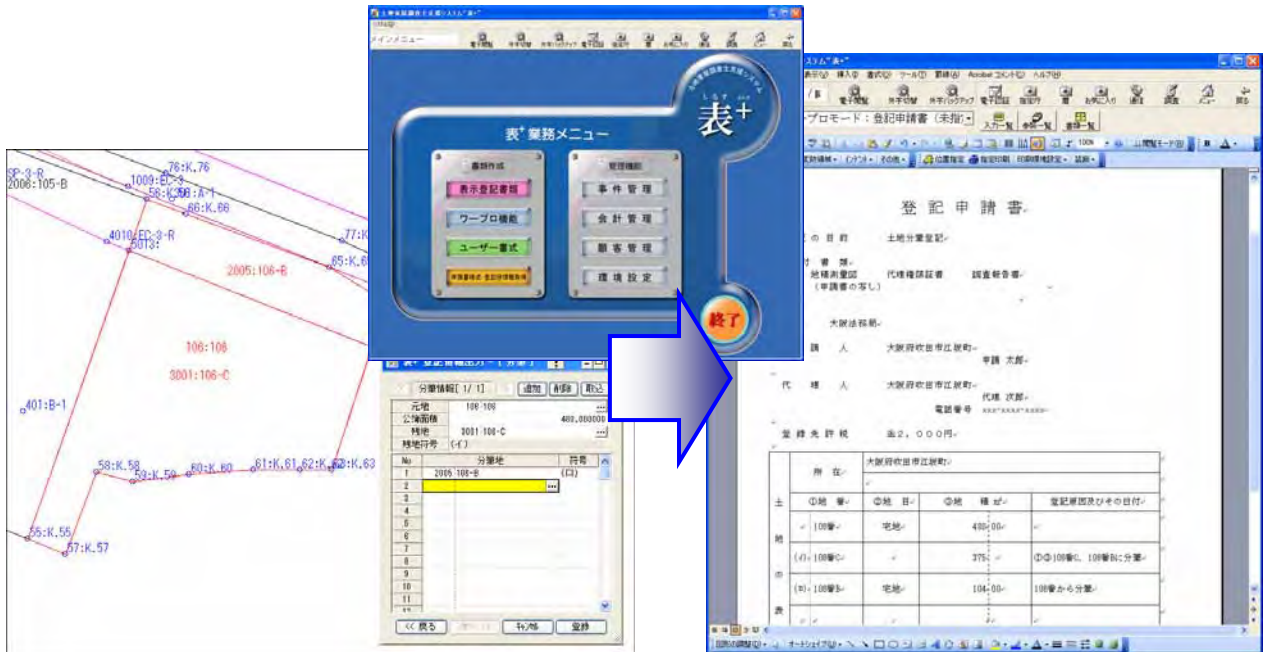
TOWISE 地籍測量(CD 工程)のリリースに伴い、精度管理データベースの明確化と視認性の向上を目的に、精度管理 DB メンテナンス(DB シート)を新たに標準搭載しました。

これにより、各基準点計算結果の精度が計算書を出しなくとも確認が行えるとともに、再処理における、精度管理情報の削除・初期化など、明確なツールとして安心して行えるようになりました。



表+ 登記情報出力

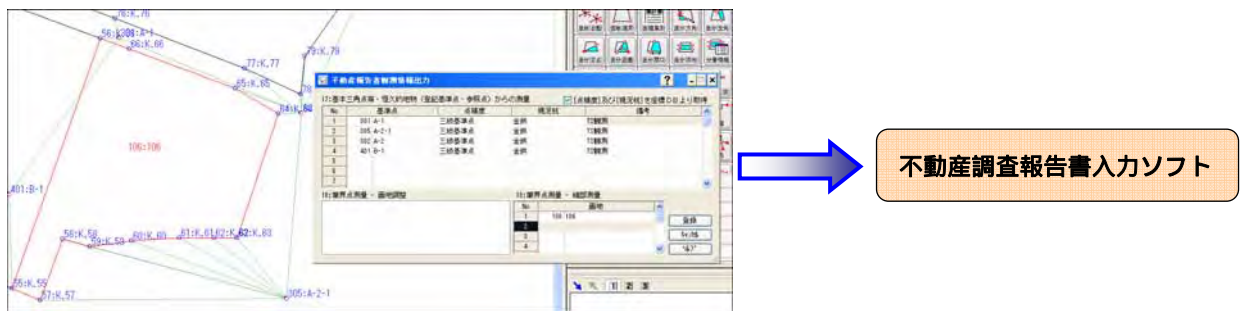
弊社アプリケーション「土地家屋調査士支援システム “表+”」(以下“表+”)と連動するコマンドを【データ交換】グループに追加しました。
 登記に必要な情報(画地や画地属性等)を本コマンドで登録して“表+”と連動することで、データの構築から申請書等の文書作成まで一連の流れをスムーズに行うことができます。



「土地家屋調査士支援システム “表+”」は弊社販売のソフトです。

不動産報告書観測情報出力

「日本土地家屋調査士会連合会」が提供する「不動産調査報告書入力ソフト」(略称「規則 93 条ソフト」)で取り込むことのできるファイルを作成するコマンドを【データ交換】グループに追加しました。
 観測既知点を指示し、筆界点測量を行った画地を選択します。選択された画地の筆界点を観測している野帳データを自動検索して出力を行います。

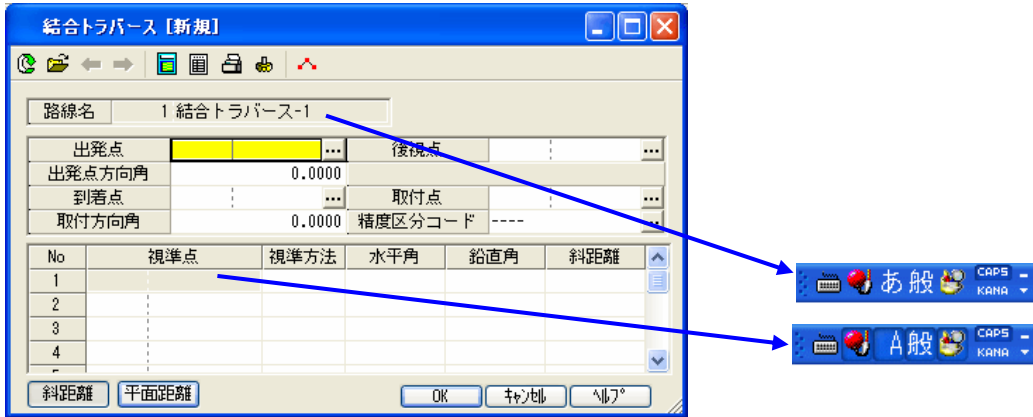


「不動産調査報告書入力ソフト」については、「日本土地家屋調査士会連合会」にお問い合わせください。

その他機能改良

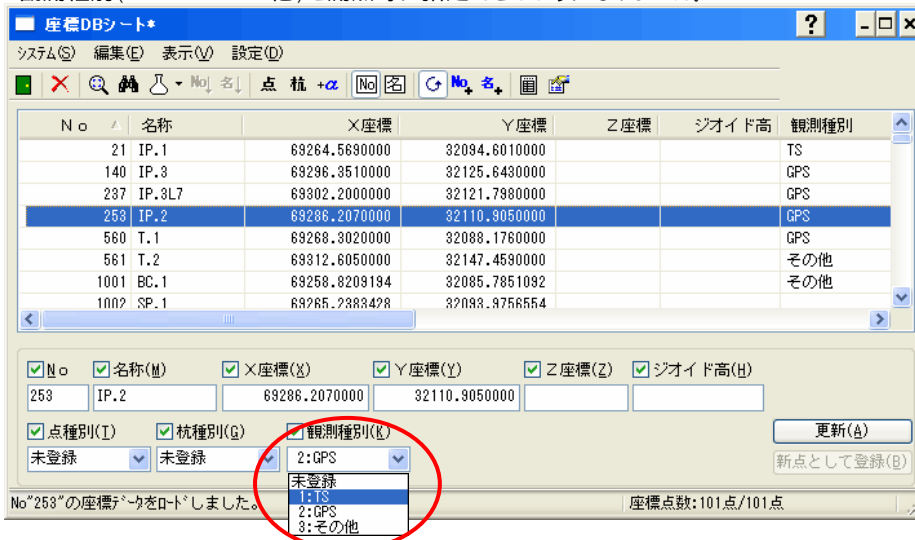
入力インターフェースの改善

各測量計算パート、CAD コマンド等において、数値及び文字の入力インターフェースを改善しました。自動的にコントロールに対応した入力モードに切り替わります。



座標 DB シートに「観測種別」を追加

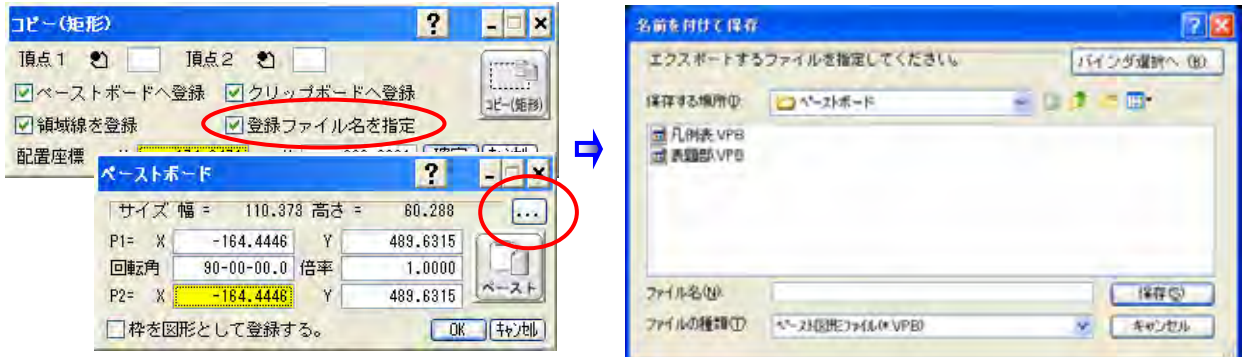
観測種別の項目が追加されました。
観測種別 (TS/GPS/その他) を測点毎に指定できるようになりました。



ペースボードの名称指定に対応

カット・コピーコマンドに、ペースボード及びクリップボードへ登録した内容を任意のフォルダにファイル名を指定して保存する機能を追加しました。ペースコマンドでは、ペースボード、クリップボードの各コマンドモードから保管したファイルを選択してペーストすることができます。

複数の切り取り図形を使った、より効果的な図面編集作業にご利用下さい。



ペースボードデータは TOWISE 独自の「ペースト図形ファイル(*.VPB)」、クリップボードデータは Windows の「拡張メタファイル(*.EMF)」形式で保存されます。

「拡張メタファイル(*.EMF)」形式は、日調連の「不動産調査報告書入力システム」の素図として受け渡すことができます。

その他の改善項目につきましては、「TOWISE Version 2.0.3.0 アップデート機能一覧」を参照ください。

アプリケーションフォルダの変更

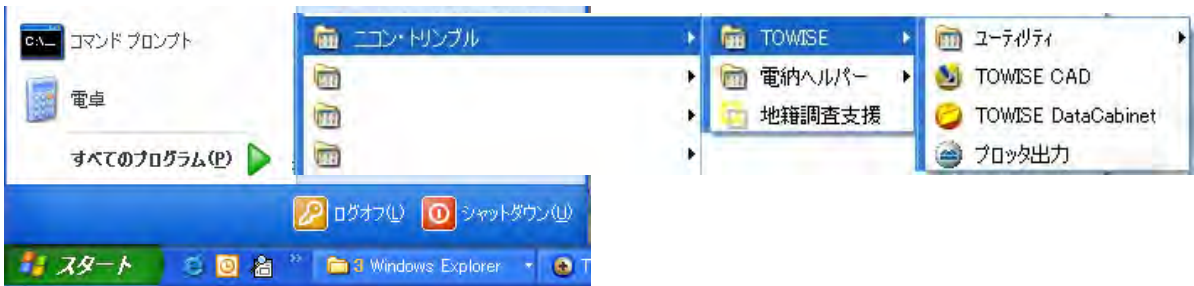
TOWISE Version 2.0.3.0 より、スタートメニューからの TOWISE 起動方法が以下のように変更になります。
今後、弊社からご提供してまいりますオフィスソフト製品群は、『ニコン・トリンプル』フォルダに登録されることとなります。
弊社では、今後も多くのオフィスソフトの製品化を計画しており、今回のアプリケーションフォルダの変更では、それらオフィスソフト製品群をひとつのプログラムフォルダに集約することで、お客様に分かりやすい環境を目標としています。

【従来のアプリケーション起動位置】



バージョン UP

【変更後のアプリケーション起動位置】



注) 上図の例では、「電納ヘルパー+」や「地籍調査支援」も「ニコン・トリンプル」のフォルダに移動していますが、TOWISE のインストール CD で「ニコン・トリンプル」のフォルダに移動するのは、TOWISE のみです。予めご了承ください。

以上